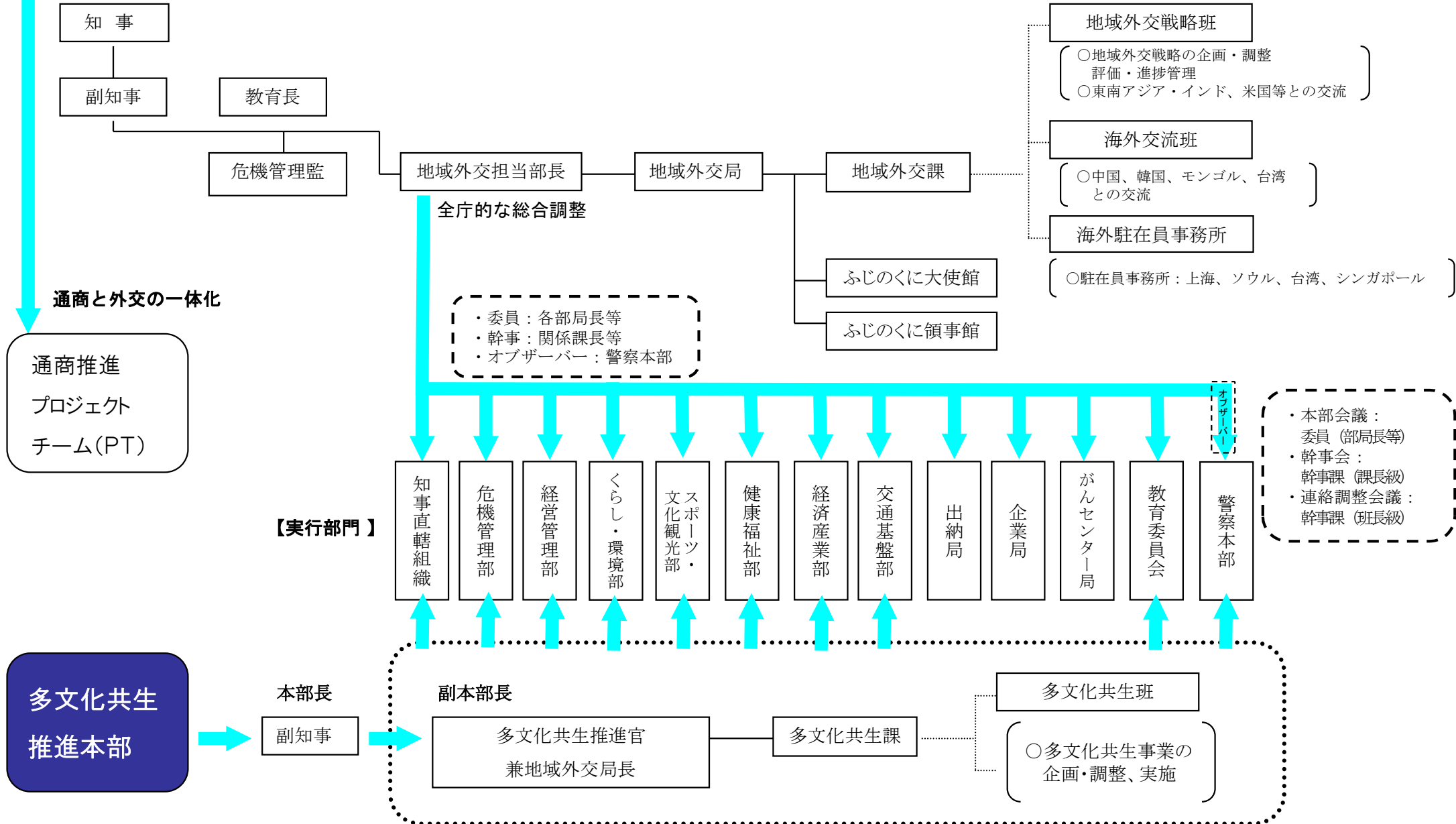


静岡県地域外交推進本部

- 静岡県地域外交推進本部は、地域外交戦略を展開するにあたり、必要な施策を総合的かつ効果的に推進する。
- 地域外交担当部長は、通商や観光など多分野における相互に実のある交流を、県組織全体が一体となって推進するため、全庁的な総合調整を担う。
- 地域外交推進本部の下に通商推進プロジェクトチーム（PT）を設置、タスクを設定し、具体的な取組を行い成果をあげる。
- 多文化共生社会の実現に向けては、多文化共生推進本部により進捗管理や課題把握・対応検討を行う。



令和5年度の全体評価：友好交流先を中心として往来が回復。観光、経済、文化、人材等幅広い分野で交流が活発化。

- コロナ禍が明け海外との往来が回復。友好交流先との対面交流も本格回復し、4年ぶりに知事の海外訪問も実現
- 杭州アジア競技大会や忠清南道との友好交流10周年の機会を捉え、連携を強化。富士山コンファレンスで、新たに清華大学との関係を構築
- 「東アジア文化都市2023 静岡県」で本県の魅力を世界に発信。日中韓学生フォーラム、全州市との青少年交流等により日中韓の交流深化に大きく貢献
- 富士山静岡空港は上海線が運航再開し、台湾・ベトナムとのチャーター便も運航。クルーズ船の寄港はコロナ前を上回り、観光・交流人口は回復傾向
- 高度人材と県内企業との海外合同面接会・就職面接会等、海外からの活力取り込みを着実に推進。モンゴルで介護人材の面接会を初めて開催
- 県議会日印友好議員連盟の設立や、ネパールの政府・最高学府との関係構築など、新たな国・地域との連携強化の下支えが実現

(令和6年度に向けた課題)

- ・ 県議会日印友好議員連盟の設立、新たにネパールや清華大学と構築した関係を、本県の地域間交流や活力取り込みで活かす必要
- ・ 回復傾向の海外との交流を一層推進し、経済の再生と発展、観光・交流人口の回復と拡大を図り、新型コロナからの回復につなげる必要
- ・ 本県の活力の維持・伸張を図るため、海外からの活力取り込みを一層推進し、県内企業支援と地域活性化につなげる必要

令和6年度の方向性

新たな“つながり”を活かした
本県の発展への貢献

- インドとの地域間交流を強かに推進
- ネパールとの関係強化
- 清華大学等と連携した取組

- ・ 県議会と連携したインド訪問、大使館と連携した「静岡デイ」等によるインドとの交流推進
- ・ プレゼンス向上や研修員受入等によるネパールとの連携強化
- ・ 清華大学と連携したスタートアップ企業のTECH BEATへの招へい
- ・ ICOIプロジェクトを通じたタイとの新たな連携

経済の再生と発展、
観光・交流人口の回復と拡大

- 駐在員事務所を活用した重点6か国・地域との交流の強化
- 友好交流先とのネットワークを活かした観光・経済・青少年交流等の推進

- ・ インバウンドの積極的な誘致促進。富士山静岡空港開港15周年記念事業、チャーター便運航等による空港の利活用促進や、クルーズ船の誘致
- ・ 青少年交流や大学間交流、スポーツ交流等、本県の青少年が国際感覚を醸成し、活躍できる場の提供
- ・ 「ふじのくに通商エキスパート」や海外のサポートデスクと連携した県産品輸出促進や県内企業支援

海外からの活力取り込みの加速化

- 外国人材活躍支援の取組強化
- 庁内連携強化による活力取り込みの一層の推進

- ・ 高度人材と県内企業との就職面接会を新たにネパールでも実施。対象国を5か国とし、高度人材・介護人材の県内での活躍を一層支援
- ・ 外資系企業サテライトオフィスの誘致実現、留学生の獲得と定着の促進
- ・ 通商推進プロジェクトチームを活用した、インドをはじめとする海外からの活力取り込みの一層の推進

	中期的視点による 重点的取組	令和5年度の評価	令和6年度の取組
中国	<p>長年にわたる浙江省との友好関係を軸とする多分野かつ多彩な交流の展開</p>	<p>★多分野かつ多彩な交流の展開</p> <p>【浙江省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浙江省人民対外友好協会、衛生健康委員会、経済交流代表団等が本県を訪問。コロナ禍が明け、浙江省との対面交流も回復。衛生健康委員会は県立総合病院機構と協定書を締結。4年ぶりに「静岡県・浙江省経済交流促進機構全体会議」も対面で開催 ・杭州アジア競技大会に合わせて副知事団を派遣。浙江省との関係を強化し、杭州での本県PRで本県の知名度向上と誘客促進に貢献。中国東方航空本社では、上海線の増便や杭州線等の運航再開に向けた課題の共有と連携強化について意見交換。訪問団は上海線運航再開初便で帰国 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジア文化都市2023静岡県を機に、成都市、梅州市との交流を推進 ・日中平和友好条約締結45周年を記念し、富士山コンファレンスを開催。アジアトップクラスの清華大学との関係構築を実現 ・ふじのくに通商エキスパートを活用し、県産品の輸出拡大に寄与（活動実績49件）  <p>副知事団の中国東方航空訪問</p>  <p>富士山コンファレンス</p>	<p>★多分野かつ多彩な交流の展開</p> <p>【浙江省】</p> <p>○企業・団体活動の支援・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済交流促進機構等と連携した両県省の企業活動支援や、環境分野でのビジネスマッチングの推進 ・日中友好関係の発展の核となる役割を果たす「日中友好協議会」と連携した中国との交流の促進 ・ふじのくに通商エキスパートと連携した県産品の輸出拡大支援 <p>○人材交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外技術研修員の受入や短期留学生、農業調査員の相互派遣、青年代表の相互交流等による、対面での人材交流 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清華大学と連携した人材育成（スタートアップ企業をTECH BEATへ招へい） ・本県を目的地とする訪日旅行に対する支援や本県訪問ツアーの造成等によるインバウンド誘致、中国路線の運航再開や増便に向けた取組
韓国	<p>民間主体の交流拡大と定期便利用の促進及び県産品の輸出拡大</p>	<p>★民間主体の交流拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忠清南道との友好協定締結10周年。両知事が相互に訪問し、交流深化に向けた共同宣言に調印。県議会議長団・経済友好団・伝統芸能団・民間交流団体等が忠清南道を訪問し忠清南道との連携強化が大きく前進 ・東アジア文化都市2023静岡県を機に、全州市との関係を構築 ・朝鮮通信使と縁の深い清見寺で、忠清南道知事、駐横浜韓国総領事を招いた茶会を開催。日韓友好の象徴の地である本県を効果的にPR ・忠清南道主催文化遺産特別展（静岡市清水区）において、日韓の朝鮮通信使関連の民間団体が相互交流。 ・韓国K-POP高校の学生が本県を訪問し、県内高校生と交流。 ・忠清南道からメダリストを招き、県内にてアーチェリーの強化練習会を実施。 <p>★定期便利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空会社等と連携したプロモーションやSNS等での情報発信により、ソウル線がデイリー運航に増便となり、搭乗率(R5.4~R6.3)も85.0%を実現 <p>★県産品の輸出拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくに通商エキスパートを活用し、県産品の輸出拡大に寄与（活動実績31件）  <p>両県道知事による共同宣言調印</p>  <p>伝統遊びを通じた高校生交流（東アジア文化都市）</p>	<p>★民間主体の交流拡大</p> <p>○青少年交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・K-POPトークカフェを発展させ、県内の高校生を忠清南道に派遣、済州青少年フォーラム・青年フォーラムへの青少年の派遣 ・県立大学との協定に基づく学術交流や学生相互派遣（東西大学日本研究センター、延世大学校、大邱保健大学等）、文芸大との協定に基づく学生相互派遣（湖西大学校） <p>○朝鮮通信使の文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使記念茶会の継続開催による本県PR <p>★定期便利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県を目的地とする訪日旅行に対する支援や観光展への出展、観光プロモーション等による、旺盛なインバウンド需要の一層の取り込み。アウトバウンド需要も喚起し、高い搭乗率の維持と更なる増便を実現 <p>★県産品の輸出拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくに通商エキスパートと連携した県産品の輸出拡大支援 ・県産品輸入業者との連携や展示会出展を通じた県産品PR

中期的視点による 重点的取組	令和5年度の評価	令和6年度の取組
<p>幅広い分野での人材交流の推進と活力取込の促進</p>	<p>★人材交流の推進と活力取込の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県とモンゴル国及びドルノゴビ県の高校生が相互訪問。学校交流等を通じて、未来の交流を担う県内高校生との国際感覚を醸成(派遣20人、受入30人) ・高度人材と県内企業との海外合同面接会、経営者セミナーを開催。海外合同面接会では8人が内定 ・国立医科大学ドルノゴビ県キャンパスと介護分野における相互協力に関する覚書を調印。初めて開催した介護人材と県内事業所との面接会では7人が内定 ・介護、電力、下水道、農業など、幅広い分野での技術研修・技術指導や、静岡がん会議への医師招へいによる人材育成への貢献。介護分野での本県への就労促進や、モンゴル国と本県との関係強化にも大きく寄与 ・モンゴル国ラグビーフットボール協会を訪問。東京オリパラのレガシーを継承  <p>あやとり等日本文化を紹介し交流(高校生交流)</p>  <p>静岡がん会議 2023</p>	<p>★人材交流の推進と活力取込の促進</p> <p>○人材交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウランバートルへのチャーター便運航による人的往来の推進と、モンゴル国への訪問団の派遣 ・高校生交流団の派遣・受入れ、教育・科学省との覚書に基づく教員等の派遣・受入れを継続 ・海外技術研修員の受入れ、セレンゲ県への農業技術職員派遣・農業技術研修員の受入れ、静岡がん会議への医師招へい等によるモンゴル国の人材育成への貢献 ・スポーツの指導者交流による、東京オリパラレガシー交流の継続 ・ビジネスインターンの受入れ <p>○活力取込の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度人材と県内企業との海外合同面接会・経営者セミナーの開催 ・介護人材と県内介護事業所とのマッチング会 <p>○地域間交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セレンゲ県での植樹プロジェクトによる友好関係深化
<p>観光誘客及び民間交流の拡大と県産品の輸出拡大</p>	<p>★観光誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高雄とのチャーター便が運航。インバウンド早期回復のため、本県を目的地とする訪日旅行に対する支援(実績115件)。訪日教育旅行も回復(13校477人) <p>★民間交流の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内高校生と台湾教育部の防災青年大使が相互訪問。防災分野の知見を高め、日台交流の未来を担う青少年の相互理解を促進。台湾の防災訓練視察・消防署訓練センター訪問、基隆市消防局職員の消防学校への受入れによる防災交流も実施 ・県内高校6校(69人)が教育旅行で台湾を訪問。青少年に海外に目を向ける機会を提供 ・台北サイクル2024へのブース出展やマラソン交流により、本県へのスポーツツーリズムを促進 ・天竜浜名湖鉄道と台湾鉄道管理局の友好協定に基づき、2023年台北国際旅行博へ出展 <p>★県産品の輸出拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくに通商エキスパートを活用し、県産品の輸出拡大に寄与(活動実績200件) ・県産酒類の販路拡大を目的に、試飲会及び説明会をバイヤー向けに実施  <p>高雄チャーター便で到着した旅行客</p>  <p>県内高校生による台湾防災視察</p>	<p>★観光誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県を目的地とする訪日旅行に対する支援や観光展への出展、観光プロモーション等によるインバウンド誘致 ・エアポートセールスやファミトリップによる台湾路線の運航再開に向けた働きかけ <p>★民間交流の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校交流や高校生の海外研修旅行・修学旅行等による青少年の国際交流支援 ・ボーイズリーグ静岡県選抜チームの派遣、自転車交流(台北サイクル)等、スポーツを通じた交流の推進 ・鉄道交流・天竜浜名湖鉄道PR(2024年第9回鉄路弁当節) ・富士山・玉山友好山交流の継続 ・ビジネスインターンの受入れ <p>★県産品の輸出拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくに通商エキスパートと連携した県産品の輸出拡大支援

	中期的視点による 重点的取組	令和5年度の評価	令和6年度の取組
東南アジア・インド	<p>企業活動の支援や県産品の輸出拡大による経済交流の促進と活力の取り込み</p>	<p>★経済交流の促進と活力の取り込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日越外交関係樹立50周年記念事業として、駐日ベトナム大使の講演会を県庁で開催。県内企業関係者等にベトナムへの理解を深め、大使と人脈を構築する機会を提供（参加者約50人） ・ビジネスサポートデスクが県内企業の現地展開をサポート。ハノイではビジネス支援ネットワークセミナーを開催し、県内企業関係者への企業支援プログラムの周知と人脈構築、現地のビジネス状況についての意見交換の機会を提供 ・ふじのくに通商エキスパートを活用し、県産品の輸出拡大に寄与（活動実績73件） ・静岡・シンガポールアグリフードフォーラムを開催。本県とシンガポールの企業等による協業に向けた連携を促進 ・ベトナムとの双方向チャーター便が運航 ・インドネシア（介護含む）、ベトナム、インドで高度人材と県内企業との海外合同面接会・就職面接会を開催。46人が内定し、県内企業の人材採用支援に貢献。駐日インド大使メッセージ入り本県PR動画を制作。本県とインドとの連携を効果的にPR ・西ジャワ州と連携したオンライン日本語研修や留学説明会を実施  <p>駐日ベトナム大使講演会</p>  <p>静岡・シンガポールアグリフードフォーラム</p>	<p>★経済交流の促進と活力の取り込み</p> <p>○インドとの地域間交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県議会と連携したインド訪問団派遣、インドの大学での本県PR等による現地で本県のプレゼンス向上。観光分野におけるインド市場開拓や、県内企業の支援体制構築に向けた調査等も含めた、インドとの地域間交流の推進 <p>○経済交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスサポートデスクによる県内企業の現地展開支援 ・ふじのくに通商エキスパートと連携した県産品の輸出拡大支援 ・静岡・シンガポールアグリフードフォーラムのシンガポールでの開催 <p>○活力取り込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア、ベトナム、インドでの高度人材と県内企業との海外合同面接会・就職面接会の継続 ・インドのビジネスインターン受入れ <p>○その他分野での交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICOIプロジェクトを通じたタイ・スポーツ観光省等との覚書調印 ・本県を目的地とする訪日旅行に対する支援や観光展への出展、観光プロモーション等によるインバウンド誘致 ・ベトナム、インドネシア等の大学生に向けた本県留学説明会 ・日本語パートナーズ静岡県推薦プログラムの継続実施（タイ、インドネシア）
米国	<p>学術・文化交流、通商の促進と地域レベルの連携強化</p>	<p>★学術・文化交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国大学との教員相互派遣や学生派遣（県立大）、留学生派遣（文芸大）により、国際的に活躍できる人材の育成に貢献 <p>★通商の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中西部会合同会議への参加を通じ、ネブラスカ州との関係を強化。ビジネスインターン受入れにより外国人材と県内企業の相互理解促進に寄与 ・ビジネスサポートデスクによる県内企業の現地展開支援 ・静岡茶の輸出を支援するため、米国内に海外サポートデスクを設置。県内茶業者による米国バイヤーとの商談等を支援 <p>★地域レベルの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐名古屋米国首席領事や、全米さくらまつり関係者など、米国関係者が本県を訪問（黒船祭、知事表敬等）。本県と米国関係者との対面交流も回復傾向 ・在日米軍と連携した総合防災訓練や静岡県指揮官会議の開催により、有事への備えを強化。県民の安心感向上に寄与  <p>海外バイヤーの県内茶工場視察</p>  <p>全米さくらまつり関係者知事表敬</p>	<p>★学術・文化交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国大学との教員相互派遣や学生派遣、留学生派遣 ・黒船祭を通じた米国との交流 <p>★通商の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米日カウンシル知事会議と連携した、県内企業への米国ビジネス情報の提供 ・ビジネスインターン受入れ ・ビジネスサポートデスクによる県内企業の現地展開支援 ・海外サポートデスク設置による県内茶業者の米国バイヤーとの商談等支援 ・観光プロモーションの実施 <p>★地域レベルの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米日カウンシル知事会議を通じた地域間交流 ・在日米軍との連携による防災訓練の実施。在日米軍指揮官（キャンプ富士司令官）の出席を伴う静岡県指揮官会議の開催

海外からの活力取り込みの推進

<R5 主な成果>

- ・モンゴル、インドネシア（介護含む）、ベトナム、インドの**高度人材と県内企業との海外合同面接会・就職面接会では、合計 54 人が内定**。R4 年度内定者（50 人）より 4 人増
- ・モンゴル国立医科大学ドルノゴビ県キャンパスと**介護分野における相互協力に関する覚書**を調印。モンゴルで初めて開催した**介護人材と県内事業所との就職面接会**では**7 人が内定**
- ・川根本町にサテライトオフィスがあるインドの IT 企業ゾーホージャパンが、**新たに静岡市内に静岡オフィスを開設**。また、外資系企業 8 社（うち 4 社は本県訪問）に本県の支援策を説明
- ・外資系企業サテライトオフィス誘致事業で関係を構築した**インド SRM グループの SRM 大学を、静岡ビジネスインタープログラムの推薦機関に追加**
- ・富士クリケット場で「**ふじさん静岡クリケット大会**」を開催。首都圏の IT 企業等に勤務するインド人等約 80 人に、本県への就職や移住、サテライトオフィス進出を動機付け
- ・地域外交局職員が**ネパールを訪問**。政府高官や**最高学府トリブバン大学幹部等**に対し、本県の概要や人材受入に関する取組等を説明し、関係を構築
- ・**地域日本語教育を通じて計 11 市町が外国人の日本語学習を支援**。外国人県民の**住みやすい環境整備**を推進



海外合同面接会



介護分野での覚書調印



外資系企業への説明



トリブバン大学幹部面会

<課題>

- ・本県の専門的・技術的分野の在留資格を有する外国人材の割合は**1.9%増加**（R4:16.5%→R5:18.4%）。しかしながら、**産業構造が類似する他県と比べ、少ない状況が継続**。人材不足の影響を受ける**県内企業支援や地域活性化を一層進める必要性**。（単位：人）

居住地	静岡県	愛知県	茨城県
総人口	3,552,421	7,482,401	2,826,009
在留外国人数	115,642	310,845	91,694
うち在留外国人労働者数	74,859 (64.7%)	210,159 (67.6%)	54,875 (59.8%)
うち専門的・技術的分野の在留資格を有する外国人	13,773 (18.4%)	46,951 (22.3%)	13,710 (25.0%)

出典：各県ホームページ（総人口）（R5.11.1現在）、法務省出入国在留管理庁「都道府県別 在留外国人数の推移（R5年末現在）」、厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況表一覧（R5.10末現在）

<R6 取組の方向性>

- ・急激な経済発展が見込まれる**インドとの地域間交流を強化**。また、近年、県内で働く労働者数が急増し、県内で学ぶ留学生数も**最多のネパールでの事業を開始**
- ・**通商推進プロジェクトチーム**の枠組みを活用し、全庁一体での推進を強化

出典：静岡労働局「静岡県の「外国人雇用状況」の届出状況まとめ」（R4.10末現在及びR5.10末現在）、（独）日本学生支援機構調査（R4.5.1現在）

[R6 主な事業]

- ★高度人材の活躍支援（モンゴル、インドネシア、ベトナム、インド、ネパール）（地域外交課、労働雇用政策課）
- ★県内企業の外国人材に対する理解促進（地域外交課）
 - ・海外における本県のプレゼンス向上（**インド、ネパール**）（地域外交課）
- ★外資系企業サテライトオフィス誘致（地域外交課）
- ★外国人材にとっての「第二の故郷」の創出（地域外交課）
 - ・地域日本語教育体制の構築、外国人相談窓口の設置（多文化共生課）
- ★留学生の獲得と定着促進（大学課）
 - ・外国人介護人材の確保（モンゴル）（介護保険課）
 - ・（仮称）国際介護人材サポートセンターの開設（介護保険課）



通商推進プロジェクトチームの活用

<運営方針>

- ・**県が直面する課題に迅速に対応**するため、タスクを刷新（R5～）
- ・年度テーマに応じて都度設置。メンバーは地域外交局が各部局と調整し、設定
- ・会議開催を目的化せず、日々の業務での連携強化を重視

<テーマ>

[R5] 海外からの活力取り込みの推進

- ・地域外交局に高度人材活躍支援を統括する職員を配置。人脈やノウハウを共有し、関係部局との連携を強化
- ・モンゴル国立医科大学ドルノゴビ県キャンパスとの介護分野での覚書調印やモンゴルでの介護人材のマッチング会では、地域外交局のネットワーク、経済産業部のノウハウを活用し、健康福祉部と連携
- ・外資系企業の本県訪問時には、政策推進局、地域外交局、経済産業部が連携し、本県の支援策等を説明



[R6]

○海外からの活力取り込みの推進（継続）

- ・関係部局が引き続き連携し、高度人材の活躍支援や外資系企業サテライトオフィス誘致等を推進

○インドとの交流の推進（新規）

- ・インドは、2023 年人口が世界最多となり、IT や STEM 分野の大学等卒業者数が世界一ともいわれ、今後も急激な経済発展が見込まれる国
- ・県議会日印友好議員連盟（R5.12 発足）とも連携し、将来の協定締結を念頭におき、インドとの地域間交流を強力に推進する方針
- ⇒**経済、人材、観光、教育等、インドの活力を多くの分野で取り込めるよう、関係部局の連携を強化し、インドとの地域間交流を推進する。**

<R6 インド関連事業>（★印は R6 新規）

- ★県議会と連携したインド訪問団派遣（地域外交課、企業立地推進課）
- ★駐日インド大使の本県公式訪問（知事表敬等）（地域外交課）
- ★在京インド大使館での「静岡デイ」（地域外交課）
 - ・インド人材と県内企業との就職面接会（地域外交課、労働雇用政策課）
- ★インドでのプレゼンス向上（現地大学等での本県 PR）（地域外交課）
 - ・外国人材の「第二の故郷」創出支援事業（地域外交課）
- ★インド市場開拓に向けた市場調査（観光振興課）
 - ・ビジネスサポートデスク設置（企業立地推進課）
- ★県内企業の支援体制構築に向けた調査（企業立地推進課）
 - ・川根本町と連携した県立川根高校生のゾーホー社サマーキャンプ派遣（高校教育課）

